

令和5年1月発行

# 請地だより

— 第52号 —

発行

たかさき法律事務所

〒370-0067 高崎市請地町11番地6

TEL.027-325-9123 FAX.027-325-4101

●ホームページURL  
<http://takasaki-law.gr.jp/>

●メールアドレス  
[office@takasaki-law.gr.jp](mailto:office@takasaki-law.gr.jp)

## 寒中御見舞申し上げます

新型コロナウイルスによる感染症  
が取り上げられるようになってから、早三年が経過しようとしております。一九一八年から世界的に流行した、いわゆるスペイン風邪は、終息まで二年はかかったと言われています。現代においては、当時に比べて地球は狭くなり、人々の往来は増えていきますので、単純な比較はできませんが、新型コロナウイルスも、

もうそろそろ終息の方向に向かってはくれないかと願っております。また、去年は、ロシアによるウクライナ侵攻など、「まさかこのようないことが起こるとは……。」と思わず言いたくなるような、世界を揺るがす大きな出来事も起きました。さらに、身近なところではインフレも進みました。食費を始めとし、生活に直結する費用はみるみるうち



宮前	中島	吉田	藤橋	堀内	広木	武井	中川	松野	並木	佐藤	栗原	飯野	清水	田島	長井
香保	裕子	樹子	こずえ	敦子	朋子	智子	原良樹	弘輝	駿介	亮	秀和	豪	俊昌	慎太郎	友之
							事務局長								

に上がりました。変化の大きい時代においては、その変化に対応するため、今までは感じなかったお悩みも出てくるのではないかと思います。お越しいただく皆様は様々なニーズにお応えするためには、多様性が大切であると考えます。私自身も、去年八月一日に当事務所に参画し、これまでに培ってきた経験を活かし、多様性の一翼を担えるよう、尽力してまいります。

この度、当事務所は、中川原良樹（なかがわら よしき）弁護士を新たに迎え入れました。中川原弁護士は、名古屋修習を経て、地元である群馬県にて弁護士活動を開始する新進気鋭の弁護士であります。中川原弁護士は、実直な人柄により、当事務所にお越しいただいた方々に、法律的な指針や解決の道筋のみならず、心のこもったサービスを提供できることと存じます。

中川原弁護士を迎え、当事務所の弁護士数は、九名となりました。当事務所の弁護士や事務局は、それぞれ違った個性やバックグラウンドを持つております。これからも、弁護士や事務局が一丸となり、当事務所にお越しいただいた方々のお役に立てるよう、精進して参る所存でございます。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

弁護士 清水俊昌



長井 友之

チームワークの重要性。企業活動やスポーツにおいては、常識です。

法律事務所も、企業体である以上同様です。根幹はメンバー各自の資質や努力ですが、個人の限界も有ります。克服するには、メンバー同士の連携と切磋琢磨が肝要です。

当事務所は、昨年、清水弁護士のパートナー加入、中川原弁護士のスタッフ加入と慶事が続きました。また、事務職員のサポートも充実しています。

この天佑に感謝しつつも、私自身が当事務所と顧客に対しどのような貢献ができるのか、身が引き締まる思いであります。

田島慎太郎

東日本大震災発生から一〇年以上が経過し、記憶が風化しかねない時期に入っています。自分ではそれなりに災害への備えを整えていたつもりだったので、昨年総点検を実施したところ、災害用のライトは電池切れ、飲料や保存食は多くが賞味期限切れであることが発覚し、ほぼ総入替えとなりました。災害への備えの点検を年間スケジュールに組み込んでおくことの必要性を痛感しました。

清水 俊昌

今更ですが、二〇一四年公開のインターステラーという映画に魅了されました。勢いあまって、ペーパーバックも買いました。映画では宇宙

や多次元空間が描写されています。宇宙は謎に満ちています。映画での描写は解釈の一つにすぎませんが、見ていて何かが分かった気になれるのは楽しいと、改めて思います。『Eureka! (分かった!)』を大切にしたいです。

飯野 豪

昨年を振り返ると、一二月に新型コロナウイルスに罹患した記憶が鮮明です。一週間ほど職場に出ることが叶わず、殆ど家族としか接しなかったのを、時間が止まってしまったかのような錯覚に陥りました。ワクチンを接種したタイミングのためか、辛い症状は重篤になりませんでした。早くに回復した娘の世話が大変でした。ご心配をおかけしてしまっただ方には申し訳なく存じますが、他方で温かいお言葉を頂き救われることもありました。心遣いに触れたことや免疫の取得をポジティブに捉え、今年の活力に代えたいと考えております。

佐藤 亮

昨年は、比較的暖かい日が続き、秋が長いように感じましたが、二月以降は気温が下がり、寒い冬を予感させました。長く続いているコロナ禍のため、今年三歳になる末っ子は、未だに、遠方に住む妻方の祖父母と、顔を合わせたことがありません。ウイルスの振る舞いについての分析も進み、ようやく収束のきざしが見え始めたように思います。早く「普

通の生活」が戻ってくれるように祈ると共に、もう少しの間、他人様に迷惑をかけないように、体調管理に努めようと思います。

並木 駿介

将棋ファンである私にとって、毎年お正月の楽しみといえば、上州将棋祭りです。コロナ禍により中止が続いていましたが、ようやく三年ぶりに開催されることになりました。しかも、スーパースター・藤井聡太竜王が初めて参加されるとのこと！観覧席の抽選倍率が何倍になるのか見当もつきません(当たりますように！)。

松野 弘輝

昨年一月、私と妻は軽井沢にて結婚式を挙げました。コロナ禍の収まりきらぬ中でしたので、親族だけで執り行わせていただきました。結婚式の段取りは分かっておりましたが、新婦の目の前で誓いの言葉を述べるのがこんなにも緊張するものだとは知りませんでした。誓うという行為の重みを実感し、今さらながら、「契約は守られなければならない」という古代ローマの法諺の淵源を知ったように思います。

中川原良樹

弁護士生活の開始と時を同じくして、私生活ではようやく運転免許を取得し、ドライバードライバーとしてもデビューを果たしました。仕事も運転も、初心者マークの付いた新人ではありませんが、仕事では常に挑戦する気持ちを忘れずに、運転ではとにかく安全第一を心がけて、どちらも良いスタートとなる一年にしたいと考えております。

新人紹介



中川原良樹

この度、たかさき法律事務所に入所いたしました。中川原良樹と申します。故郷群馬にて弁護士人生のスタートを切ることができ、万感の思いがいたします。

私が弁護士として働く上で大事にした言葉に、「善き法律家は善き隣人」というものがあります。これは、「善き法律家は悪しき隣人」という法諺をもじったもので、「善き法律家は、法律論に優れているだけでなく、他人の気持ちに共感できる人間でなければならぬ」との教えを意味します。私は、この教えを胸に刻み、ご相談・ご依頼いただく皆様に「善き隣人」として、皆様のお気持ちに徹底して寄り添い、最善のリーガルサービスをご提供いたします。そのために、まずは一日でも早く皆様のお役に立てるよう、たゆまぬ研鑽を続けてまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

誕生日
平成5年4月1日
出身地
群馬県前橋市
趣味・特技
スイーツ、ラーメン、バドミントン
将来の目標
未長く信頼していただける弁護士
休日の過ごし方
美味しいお店の開拓
好きな言葉
捲土重来

